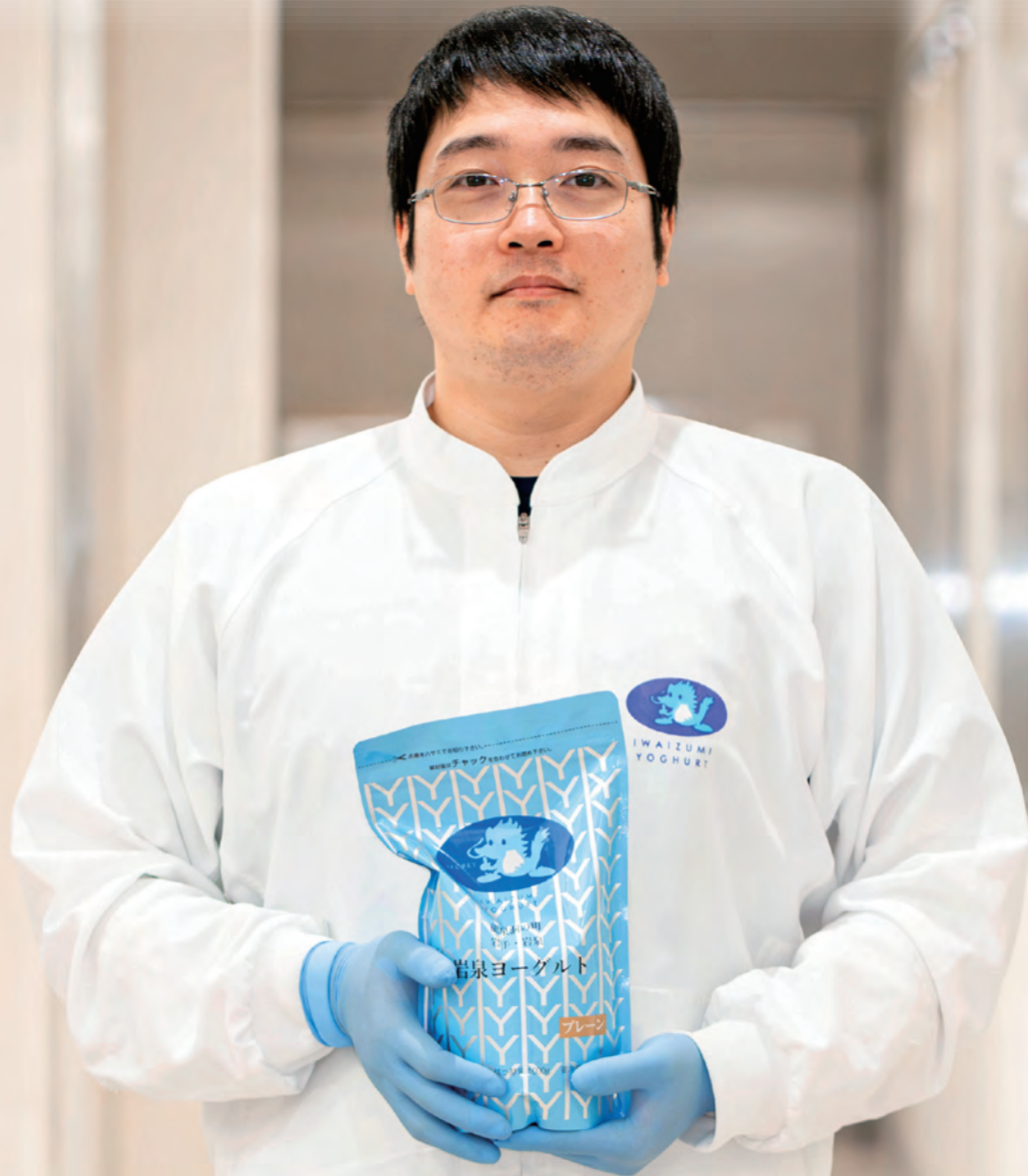




いわいずみ



P2 報酬・定数を意見交換 議員と語る会

- P 6 ふるさと納税が好調
子育て支援へ生かす
- P 8 町の考えを問う(7 議員が一般質問)
- P13 どうなりゃんしたあの提言

シリーズ キラッと光る人⑤

岩泉ホールディングス(株)で岩泉ヨーグルトの製造に従事し13年の三浦大洋^{ともひろ}さん(33歳)。「たくさん作れることが喜び。全国の人に知ってもらえてうれしい」と作業に打ち込みます。

【関連6頁】

将来見据えた子育て支援を

総務常任委員会(島山昌典委員長)は12月23日、急速に進む少子化の中、将来を見据え安心して子育てできるまちづくりを目指し、子育て世代を対象とした議員と語る会を開催しました。

- ◆**子どもの医療関係**
 - ・ 急病対応に困っている。遠隔診療など必要ではないか。
 - ・ Webオンラインやぴーちゃんねつとなどで受診すべきか判断してもらいたい。
 - ・ 子どもが怪我したとき、診療アプリ(期間限定)が助かった。継続してほしい。
 - ・ 風邪や胃腸炎など次々に罹患し家計のやりくりが大変。子どもの医療費を無償化してほしい。
- ◆**スポ少・部活動など**
 - ・ 部活遠征費を補助してほしい。
 - ・ レクリエーション広

- ◆**教育に関して**
 - ・ 出産を予定しているが同級生がいるか不安。学校の統合など将来を見据えた議論はされているのか。
 - ・ 子どもの数が少ないので、一度同級生とうまくいなくなるのと小・中学校、高校とずっと仲間に入らず学校に行けなくなる子どもが多い。対策が必要である。
- ◆**移住・定住者などへの支援**
 - ・ 町外出身で、妊娠・出産・子育ての際、頼れる人がいなく、相談できる人がほしかった。
 - ・ 移住は容易だが定住のハードルは高い。コミュニティーにな

議員 × 子育て世代



少子化が進む中、将来を見据えた対策や支援を考えていきます



子どもたちも参加してくれました



子育てにやさしいまちを目指して

(※) 議会の活動などに対して、広く町民の要望や意見を聴き、議会の運営などに反映させようとする制度

定数・報酬を意見交換



活発な意見交換が行われました

議員 × 産業団体

産業常任委員会(三田地久志委員長)は12月22日、町内の産業団体の代表者と「議員と語る会」を開催しました。次回の改選後に向け検討している「議員報酬の引き上げ」「議員定数は現状維持」に対する、意見交換を行いました。

定数・報酬の見直しの経過

本町議会では、性別や年齢など幅広い町民が議員となる環境を整えるため、議員定数と報酬の在り方を検討。県内外の町村議会の状況確認や議員間での討論を繰り返し行ってきました。その結果「定数は現状維持」「報酬引き上げ」という方向性を決定。今後、町の皆さんへの説明、意見交換を実施していきます。

◆皆さんの意見

*定数
幅広い意見を反映していくため、定数は減らすべきではない。

- ・ 常任委員会の活動が縮小しないよう定数維持が望ましい。
- ・ 議員に限らず、さまざまな業種でなり手不足。人口も減少する中で定数減が妥当。
- *報酬
議員の活動を踏まえると報酬の引き上げは賛成。
- ・ 報酬に対して手取りがどのくらいか、町民に知らせるべきである。
- ・ 町民の所得も上がるように考えてほしい。

*その他

幅広い参画が望ましいが、勤労者が議員と兼業するのはかた

- ・ 岩泉高校への支援は良いことだが、町外に出た高校生の活躍も取り上げるべきである。町に戻ってこなくなる。
- ・ 子育て応援住宅の拡充を強く望む。
- ・ 旧岩泉公民館に代わる、街中で集まれるスペースがほしい。
- ◆**その他の要望**
 - ・ 創業サポートが少ない。支援を充実させるべきである。
 - ・ 女性議員が少ない。パワフルできめ細やかな女性議員が増えてほしい。



次は、定例会のあらまし

物価高騰で事業者などに支援 ～追加議案を可決～

5年第4回定例会は、12月14日から19日までの6日間の会期で開きました。14日と15日、一般質問が行われ7人の議員が登壇しました(質問の内容などは8ページから12ページまで)。最終日には、原油・物価高騰に対する支援を行うための補正予算などが追加提案され、全会一致で可決しました。【関連7ページ】

物価高騰への支援策 6136万円を増額

いまだ先の見えない原油、物価高騰。直面する町民と事業者に対し、一足でも早く継続した負担軽減支援を講じるため、追加補正しました。

物価高騰への支援策の補正額は総額で6136万円、補正後の一般会計予算額は113億722万円になりました。その他、5特別会計と水道事業会計を補正しました。

歴史民俗資料館の新たな条例を制定

歴史民俗資料館の運

営体制が、現資料館の体制から大幅に改正されるため、資料館の位置を変更し、運営・管理事項を定める条例を可決しました。

12月補正予算の状況

会計名	補正額	補正後総額
一般会計	4億4287万円	112億4586万円
5号補正	6136万円	113億722万円
6号補正	925万円	11億5985万円
国民健康保険	165万円	1億2545万円
後期高齢者医療	53万円	1203万円
介護保険(サービス勘定)	390万円	2億244万円
観光事業	249万円	4億858万円
公共下水道事業		

請願 1件を採択 意見書を 県に提出

産業常任委員会(三田地久志委員長)に付託されていた1件の請願を採択と決定。岩手県に意見書を提出しました。

◆令和5年8月13日からの大雨被害対策に関する請願



現地を調査する産業常任委員

③ 卒郡地内の排水路の整備

* 審査の結果

* 意見書の提出先

岩手県知事、岩手県議会議長

* 意見書の要旨

治山・砂防の連携を含め、さらなる大雨対策を強く要望する。

▽ 中島地内の砂防堤防の流末への排水施設

の設置

▽ 中島地内の治山堤防の流末への排水施設

の設置

設置

ガザの人的・物的被害 求める決議を可決

決議(※)案は、12月19日の本会議に議員発議で提案。全会一致で可決しました。イスラエルとパレスチナのイスラム組織ハマスの紛争に関する全ての当事者と、国際社会に対し次のとおり訴える。
▽ 即時かつ持続的な人道的休戦と人質の即時解放▽ 国際法、国際人道法の遵守。



農業生産資材の 価格高騰へ支援 625万円

クマ被害でリンゴ発送の受け付けできず



福祉サービス事業所 物価高騰の対策支援 290万円

ますの声 物価高騰の 支援助かる



グループホームいわいずみ
ホーム長 似内ミユキさん

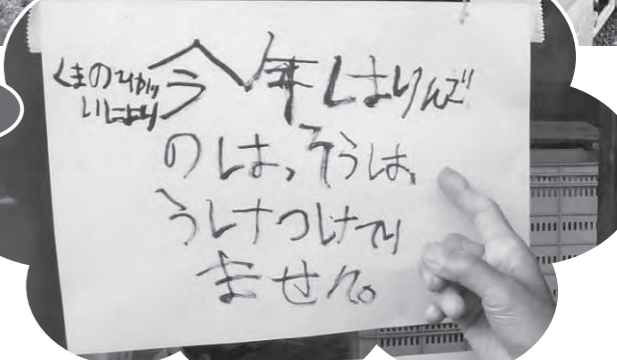
光熱水費、食費の全てが値上がり。食材によっては2.5倍に。職員の工夫や地域のご協力でなんとかしのいでいます。物価高騰支援は助かります。

ますの声 クマの被害で 収穫量が激減



八重樫 茂徳さん
(岩泉・65歳)

クマ被害で収穫量が激減し、リンゴ発送の受け付けができない。被害額は120万円以上で、リンゴ果樹農家は死活問題。駆除などの対策を強く要望します。



- * 漁業者の経営
継続図る支援
漁船規模に応じて支援金を交付する。
事業費 561万円
- * 林業事業体などの燃料購入費を一部支援
機械や車両の台数に応じ支援する。
事業費 198万円
- * 特用林産事業者の燃料購入費を一部支援
シイタケ栽培用ハウスの面積に応じ支援する。
事業費 110万円



緊急時に備え、水門の補修を早急に

小本漁港水門補修工事契約を可決

- ▽ 工事名 小本漁港水門補修(その1) 工事
金額 8779万円
請負者 (株)IHI インフラ建設 北東北営業所
- ▽ 工事名 小本漁港水門補修(その2) 工事
金額 1億2671万円
請負者 (株)IHI インフラ建設 北東北営業所

固定資産評価審査委員会 委員2人の再任に同意

固定資産評価審査委員会委員の任期が6年3月をもって任期満了となることに伴い、2人の委員を再任することに同意。任期は3年間です。

- 山下 洋一郎さん(小川・79歳)
- 山下 向秀夫さん(岩泉・76歳)

一般質問

7人の議員が登場



町の考えを問う



一般質問全文は、町ホームページで公開しています。スマートフォンははこちらから。

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をたずねること。報告や説明を求めることです。12月定例会では、7人の議員が登場し、町政課題への提言や質問を行いました。

●バス利用補助の見直しを

坂本 昇 議員 (9ページ)

* その他の質問
岩泉町民文化展の展開を

●人口減少の対策を

畠山 昌典 議員 (9ページ)

* その他の質問
鳥獣被害対策を

●ジビエへの取り組みは

八重樫龍介 議員 (10ページ)

●深刻なクマ被害どう防ぐ

畠山 和英 議員 (10ページ)

* その他の質問
健康増進施策の推進
・健康推進課改編後の評価と課題
・がん検診の無料化による効果
・令和6年度新型コロナワクチンの接種費用
・「おたふくかぜワクチン」、「带状疱疹ワクチン」接種への助成

●非認知能力の育成を

三田地久志 議員 (11ページ)

●減免終了後の相談体制は

林崎竟次郎 議員 (11ページ)

* その他の質問
物価高騰対策は

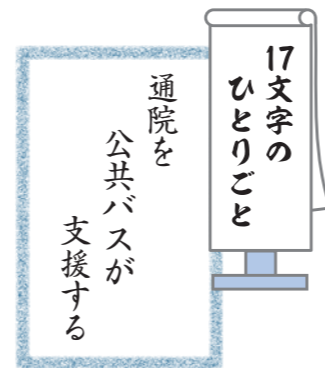
●町民の生きがい対策を

佐藤 安美 議員 (12ページ)



坂本 昇 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 バス利用補助の見直しを
答 利用状況を再分析し研究

問 岩手県交通が路線バスの大幅減便を検討しているとの報道があった。当町の交通体系に影響はないか。

町長 現時点では、町民バスへの影響は少ないと考える。今後、広域路線の減便や廃止の検討も危惧されるが、バス事業者と情報交換し、公共交通体系の維持・確保に努めていく。

町長 「路線バス高齢者利用促進補助金」は、利用状況などを再分析していく。より利用しやすい制度となるよう引き続き調査・研究していく。

問 総合交通体系は、いかに効率化を図るかが求められている。見直しをしているか。
町長 今後3年間を計画期間とする「町域公共交通計画」を策定中。持続可能な地域公共交通ネットワークの在り方を検討していく。



見直しが求められる交通体系

問 人口減少の対策を
答 積極的に取り組む

問 人口減少対策は急務。今後力を入れなければならぬ分野と、この状況の中、地域行政サービスや振興協議会の体制は。

町長 これまでもさまざまな人口減少対策に取り組む、地域おこし協力隊や住宅提供・宅地分譲などで一定の成果と認識。今後も、豊かな自然を生かしたイメージアップ・ブランドを作り出し、移住定住促進につなげる。人口減少に伴う地域行政サービスなどは、住民に寄り添い意見交換を重ね、地域の実情に応じた対応を進める。

町長 捕獲が優先対策だが、より効果的な侵入防止資材の検討など情報収集し対策を強化する。損害へは、農業保険制度の活用を勧奨するなど対策を講じる。



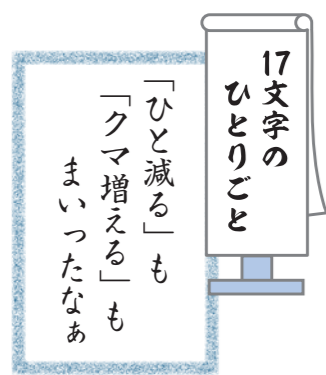
地域おこし協力隊の活動も町の活性化へ(塚越申斐さん(右))

問 本年初めてリンゴ



畠山 昌典 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから





さまざまな年齢の交流で非認知能力は高まります

問 生涯の学びを支える「非認知能力」(※1)は「認知能力」と絡み合い伸びていく。意欲や関心をもって粘り強く取り組むと、自然に

答 準備を加速していく

問 非認知能力の育成を

深く考え工夫・想像しながら「認知能力」が高まる。「認知能力」が発揮された結果、達成感や充実感が得られると、次も頑張ろうと

「非認知能力」が強化される。こども園、小中高とそれぞれの成長段階において、連携・協力をしていく必要があるのではないか。その仕組みを作らなければならぬと考えるがどうか。

教育長 「非認知能力」の向上には、5歳児から小学校1年生まで2年間の「架け橋時期」が重要と考える。0歳から18歳までの学びの連続性に配慮しつつ、次年度のカリキュラム作成に向けた準備を進めている。今後、「非認知能力」の向上も視野に入れながら、準備を加速していく。



三田地久志議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



17文字のひとりごと
遊びこそ学びの本質と知るべし



八重樫龍介議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



17文字のひとりごと
鳥獣もひと皮むけばジビエ事業

問 本町では、地域おこし協力隊にジビエ事業に意欲を持った人がいる。近ごろ社会問題となっている、鳥獣被害の課題を地域の財産に変えていくことで、町の活性化に繋がると思われる。ジビエ事業へ積極的に取り組むべきと考えるがどうか。

町長 ジビエ事業の取り組みは、現在着任している地域おこし協力隊員がジビエの研究を行っている。町としても国の補助事業に関する相談や先進地視察などを通じて、情報収集の段階にある。今後、収益性や事業の継続性などさまざまな情報を共有しながら、どのような取り組みが町おこしにつながるのか調査研究していきたい。



鳥獣被害の課題をジビエで地域財産へ

「非認知能力」が強化される。こども園、小中高とそれぞれの成長段階において、連携・協力をしていく必要があるのではないか。その仕組みを作らなければならぬと考えるがどうか。

教育長 「非認知能力」の向上には、5歳児から小学校1年生まで2年間の「架け橋時期」が重要と考える。0歳から18歳までの学びの連続性に配慮しつつ、次年度のカリキュラム作成に向けた準備を進めている。今後、「非認知能力」の向上も視野に入れながら、準備を加速していく。



林崎竟次郎議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



17文字のひとりごと
我慢すな 無料低額診療あり



無料低額診療を行っている済生会岩泉病院

問 減免終了後の相談体制は

答 被災者に寄り添った対応

問 国保医療費・介護保険利用料の台風被災者減免(※2)が、5年12月末で終了する。この間、対象者は、台風での大きな被害にもめげずに暮らし、何よりも病院などにかかる時の負担が軽減された。減免終了後も経済的に大変な人が、医療を

町長 減免終了の個別通知に合わせて、高額療養費制度の案内をしている。生活面での金銭的な相談に及ぶ場合は、福祉の窓口につながるなど、丁寧な対応に努めている。

受けられる対策・相談体制が整っているか。

町長 減免終了の個別通知に合わせて、高額療養費制度の案内をしている。生活面での金銭的な相談に及ぶ場合は、福祉の窓口につながるなど、丁寧な対応に努めている。

済生会岩泉病院では無料低額診療(※3)を行っており、今後も必要の人に対して継続実施していくこと。これまで減免を受けていた人の経済的不安を取り除くため、関係機関と連携を図りながら、被災者に寄り添った対応を行っていく。



畠山 和英議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



17文字のひとりごと
クマ食害 守るハンター 頼りです

問 防護設備や機器の導入、更新など防獣事業にどう取り組むか。

町長 リンゴ販売農家を対象とした支援金の交付を検討している。

問 栽培が継続できるような支援を講じるべきではないか。

町長 岩泉果樹協会23戸の聞き取り調査では、生産物量で約20トン、被害額で900万円程度と推計している。

問 クマの捕獲対応やハンターの負担軽減など



クマ被害防止対策の強化を

町長 電気柵の整備や防止網の設置など事業を支援している。今後も、効果などを検証し制度の見直しも含め検討していく。

問 クマの捕獲対応やハンターの負担軽減など

町長 くくりわなを含め捕獲報酬の在り方を見直す。捕獲用わなの更新や購入、ハンターなどの確保・育成は猟友会と連携強化し対応していく。射撃場施設改修の支援は、猟友会とも意見交換を行っていく。

問 深刻なクマ被害どう防ぐ

答 防衛・捕獲策を強化する

問 クマによる深刻なリンゴの被害状況は。

町長 電気柵の整備や防止網の設置など事業を支援している。今後も、効果などを検証し制度の見直しも含め検討していく。

町長 くくりわなを含め捕獲報酬の在り方を見直す。捕獲用わなの更新や購入、ハンターなどの確保・育成は猟友会と連携強化し対応していく。射撃場施設改修の支援は、猟友会とも意見交換を行っていく。

ど被害防止対策の強化を図るべきではないか。

(※1) 意欲や協調性、粘り強さ、自制心、創造性など、測定できない個人の特性による能力。
 (※2) 平成28年台風第10号、令和元年台風第19号の被災者が対象
 (※3) 低所得者など医療を受けにくい人が無料、もしくは低額で医療行為を受けられる事業。県内6医療機関で実施。



質問のその後

どうなったか... あの提言

議員が行う質問や提言が、町政にどう反映されているのか。これまでの質問などから一部を取り上げ、その後どうなったか追跡します。

問 町民の生きがい対策を 答 効果的施策を研究する

問 人口減少と少子高齢化が著しく進み、農地などの風景が年々変化している。
グループ運営団体に活動奨励金などを支給する仕組みを創設し、仲間づくりや生きがいづくり、遊休農地の有効活用につながる施策を展開してはどうか。



佐藤 安美議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



仲間との活動が生きがいづくりに

町長 町では、町民アイデア実践支援事業や地域振興事業などの活動支援に取り組んできた。グループでの地域活動は、仲間づくり、生きがいづくりにつながる、地域活性化の重要な役割を担う。町民が自主的な活動ができるよう、支援していきたい。

現在、グループで雑穀を栽培・収穫し、みんなで味わう活動に取り組んでいる地域振興協議会もある。町民が楽しく生活できるまちであることと、町民の所得向上は町の取り組みべき大きなテーマの一つ。今後とも、効果的な施策を多角的に研究していきたい。

各種給付金

申請不要で迅速な プッシュ型給付に

令和4年第2回臨時会

問 プッシュ型給付は、申請書の提出が不要で迅速に支給できる。本町での実施はどうか。

答 今回の支援（産業・子育て応援事業）は、伴走型支援が目的であるため保健師との面談確認を条件としている。申請書の提出をお願いしたい。

17文字の
ひとりがこ
生きがいは
遊休農地の
利活用

令和5年第1回臨時会

問 申請書の提出をしなくても自動的に支給することはできないか。

答 既にプッシュ型給付を行った自治体では、口座が違ってするなどといったトラブルも起きていると聞く。慎重に取り扱いたい。手続きが簡素化されスムーズに支給されるよう実施に向け検討していく。

令和5年第4回定例会

低所得世帯支援給付金をプッシュ型給付で支給する。
対象世帯の約9割が申請なしで給付予定。残りの1割は確認書の提出が必要。世帯主が変更になったなど前回の給付から条件が変わった人。
今後、条件を整えられるものはプッシュ型で対応していく。

ましてぴーちゃん プッシュ型給付とは？



プッシュ型給付とは、行政が給付金などの対象者に対して積極的に給付金を支給することです。
町から対象者へ事前通知を行い、修正や変更がある場合のみ手続きを行います。
町民は申請書の提出などが不要になり、より迅速な給付が可能となります。

従来の給付	プッシュ型給付
* 給付対象者からの申請が必要	* 申請不要
* 申請書のほかに添付書類の提出が必要	* 町は審査が必要な対象者を明確化し、業務が軽減
* 町は申請内容の確認・審査が必要	

傍聴者の声



和山 俊介さん
(岩泉・25歳)

和山さんは5年10月から地域おこし協力隊として活動しています。

12月定例会の傍聴者は延べ5人でした。傍聴された人から感想や議会・町に対する声を聴きました。

町民の声届く 議会であって

傍聴のきっかけは
地域おこし協力隊の先輩に誘われたのが大きいですが、これから活動する町の課題や問題を実際に聞いてみたいと思ってきました。

議会や町政に対する要望はありますか

活気があって持続可能な町になるよう、町民の声が届く議会・町であってほしいと思います。

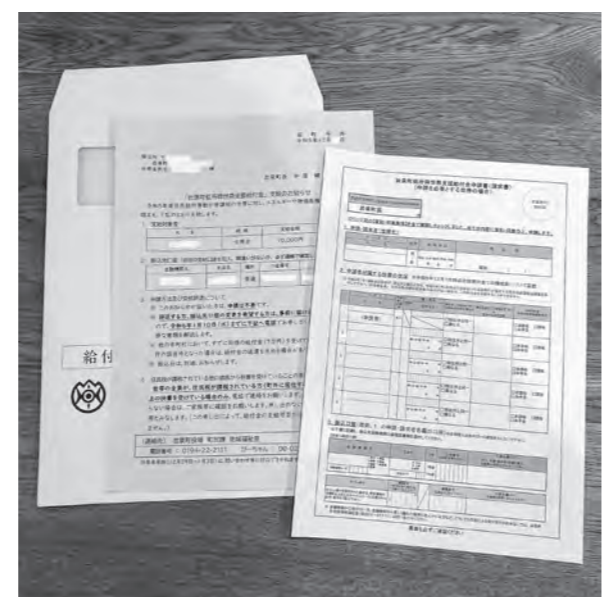
傍聴した感想は

初めて議場に入りましたが、議員が町民の代表となり、緊張感を持って町のさまざまな課題を議論していて、真剣さが伝わってきました。

地域おこし協力隊としての抱負は

昨年の10月に着任し、小学校での活動をしながら、教育の可能性や他の視野を広げるため活動しています。地域ボランティアにも興味があり、町の活性化に繋がる活動をしていきます。

皆さんもお気軽に傍聴にいらしてください



申請不要で、町民の負担も軽減

まずの声 プッシュ型 ありがたい



川戸 善喜さん
(安家・90歳)

この歳になると、手続きがいろいろなプッシュ型の給付は大変ありがたいです。
次の給付が楽しみです。

次は、常任委員会レポート

総務 地区の課題は みんなで解決

筆甫地区振興連絡協議会

総務常任委員会（畠山昌典委員長）は11月17日、地区住民が一体となり地域課題の解決に取り組み宮城県丸森町の一般社団法人筆甫地区振興連絡協議会（庄司 一郎代表理事）で、地域活性化策の調査を行いました。

丸森町の山あいにある筆甫地区は、人口432人（5年9月末現在）、高齢化率62・3%、面積は約74km²の集落です。

課題の優先度を明確に

平成22年度に丸森町から筆甫まちづくりセンターの指定管理を受けたことを契機に、地域住民自らが住み慣れた地域で安全・安心に自分らしく暮らすことができる地域社会の構築を目指し事業を開始。令和5年度過疎地域持続的発展優良事例表彰において「総務大臣賞」に輝きました。

願いにアクション

中学生以上の住民全員にアンケートを実施。重要度×満足度で分析し、取り組むべき課題の優先度を明確にしました。

主な取り組み

- *特産品の「へそ大根」をブランド化
- *ガンリンスタンドを事業継承し運営
- *週1回、買い物と見守りを兼ねた移動販売

設置。「町民の最も強い願いに対してアクションを起こすことが大切」と吉澤武志事務局長は話します。



住民主体の多くの取り組みに脱帽

「住みたくなる」新たな魅力の創出

宮城県七ヶ宿町

総務常任委員会は11月16日、宮城県七ヶ宿町の定住化対策と子育て支援対策を調査しました。住みたくなる新たな魅力を創出するための支援をいくつか紹介します。

結婚・子育てまで支援

- *結婚新生活へ応援金 新婚世帯に50万円
- *子育て応援支援金
 - 第1子 30万円
 - 第2子 50万円
 - 第3子以降 70万円

にぎわいの創出



なないろひろばにある入浴施設とカフェ

- *医療費18歳まで無料
- *小学校入学時に体育着を支給
- *移住定住のサポート
- *地域担い手づくり支援住宅
 - 新築町営住宅に20年間入居すると、住宅と土地を無償譲渡
- *就業支援
 - 無料職業紹介所「七ヶ宿くらし研究所」
 - 町外通勤者へ月千円分の給油券配布

産業 国道340号線整備状況を調査

産業

落合地区から押角間幅員狭く見通し悪い

一般国道340号は、町民にとって重要な地域の幹線道路。JR岩泉線の廃止に伴う代替バス路線でもあり本町落合地区から宮

産業常任委員会（三田地久志委員長）は10月18日、町内国道の整備必要箇所の現況を調査。農林水産業、観光業・商工業の振興策として、5年7月にオープンした「道の駅やまだおいすた」を視察しました。

古市押角間は、相当区間が未改良で幅員が狭く、急カーブも多く見通しが悪い状況。降雪や凍結、雪崩の発生など冬期間はさらに危険であると認識。未改良区間の早期事業化、舗装の修繕などを求めています。

道の駅やまだおいすた経済効果など視察調査

道の駅やまだおいすたは、5年7月に移転リニューアルオープンしました。施設内の特産品販売店舗や地元海の幸を堪能できるレストランなどの見学を行いました。敷地内には子ども向けの遊び場もあり、本町の施策のヒントを探りました。



国道340号の早期事業化を

入学祝金の創設を

8項目の施策を町に要望

町議会と町議会議政務調査会（坂本昇会長）は5年12月19日、6年度の町の施策に対する要望書を提出。6年度は、入学祝金の創設など8項目を要望しました。

要望事項

出産祝い金増額と入学祝金の創設を

▽第2子、第3子以降

の出産祝い金を増額すること▽入学祝金を創設し、小中学校入学時に支給すること。

町スポーツ協会と所属関係団体へ支援を

▽同協会と所属関係団体の若手育成に支援策を講じること▽各団体の活動を活性化させるため積極的支援を講じること。

漁業後継者の育成を

水産業振興を担う人材の育成施策のさらなる取り組みをすること。

畜産・酪農振興策を

▽短角牛などのイベントを再開し県内外へ魅力を発信し、短角牛肉の販売促進に努めること。



べごっこフェスタの再開を

人口減少対策として住宅施策を

▽人口減少対策としての住宅施策で「移住希望者へ20年住み続けたら土地・住宅を無償譲渡する」方策を実現すること。

指定避難所見直しと福祉避難所の指定を

「Jフレジットを販売し温暖化対策を

商店・小規模事業者の振興策を



議長席のベルを発見。始まりと終わりの合図に使います。(左から佐藤莉心さん、工藤あずささん、崎尾俐心さん)

カメラを2つ発見
有芸小(三浦紀久果校長、児童9人)の2年生3人が12月7日、生活科見学で議場を訪れました。「床がフワフワなのは歩く音がしないようにかな」「カメラは前と後ろの2つだね」と、たくさんの発見をしていました。



質問席で少し緊張気味の3人

議場にかわいのお客様

議会を傍聴しませんか

次の定例会は、

- 2月 8日(木) 町長施政方針演説
- 26日(月) 条例補正予算審査
- 27日(火) 条例補正予算審査
本会議
- 28日(水) 一般質問
- 29日(木) 一般質問
- 3月 5日(火) ~8日(金)
新年度予算審査
本会議

の予定です。

※都合により変更となる場合があります。

議員は何してんのや

議員や議会は何をしているの?という声を聞きます。ここでは、議会や議員の主な活動状況をお知らせします。(全日程はQRコードで)



議会の動き

11月

- 6日 山形県尾花沢市議会 議会だより編集委員会視察対応(役場)
- 10日 町社会福祉大会・老人クラブ大会(町内)
- 20日 岩泉町表彰式典(町内)
- 28日 岩手県選出国会議員との懇談会(東京都)

12月

- 11日 議会運営委員会(役場)
- 14日 第4回定例会(議会議事堂、役場:19日まで)
- 15日 第4回議会全員協議会(役場)
- 19日 令和6年度町の施策に対する要望(役場)

議員と町のことを語り合いませんか

~議員と語る会を開催~

議会活動の報告と町の皆さんとの意見交換会を開催します。

時間は、各会場とも

午後6時30分から午後8時まで の予定です。

多数の参加をお待ちしています。

月日	地区名	会場
1月23日(火)	小川	小川生活改善センター
1月25日(木)	小本	小本津波防災センター
1月29日(月)	岩泉	役場大会議室
1月31日(水)	安家	安家地区総合交流センター
2月2日(金)	大川	大川基幹集落センター
2月6日(火)	有芸	有芸生活改善センター

編集後記

▽郷土芸能祭が12月17日に町民会館で開催され、町内からは4団体が参加しました。貴重な文化を後世に受け継いでいけるよう、町のさらなる下支えが必要だと思いましたが今年度は、コロナ禍により見合わせておりました6地区での「議員と語る会」を4年ぶりに開催します。議員報酬と議員定数の見直しに関しては、忌憚のないご意見・ご提言をよろしくお願いたします▽令和6年もいわずみ議会だよりをご愛顧のほどよろしくお願ひ申し上げます。

広報広聴常任委員
八重樫 龍介

広報広聴常任委員会

委員長	副委員長	委員
千葉 泰彦	佐藤 安美	八重樫 龍介
坂本 昇	八重樫 龍介	岩泉 昌典
岩泉 昌典	岩泉 昌典	岩泉 昌典



古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と、森林の再生に取り組む岩手県岩泉町との連携により実現した「森の町内会一問伐に寄与した紙」を使用しています。